

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中小企業資金融資運営委員会事業				会計	款	項	目	大事	小事
					01	07	01	02	01	02
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）			主管課	商工振興課				
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化			主管課長	渋谷 俊之				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内店舗・工場・事業所・営業所を有する法人及び個人	意図	市内中小企業者に適正に資金融資を行うために設置した。
事業内容	市内中小企業者に対する資金融資に関し、必要な調査及び審議を行い、必要があれば市長に対し建議をする。			
事業開始から現在までの状況変化	金融機関の職員、商工関係団体の役員、中小企業を代表する者、公募による2名の市民を加え合計6名で開催。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	融資運営委員会の開催回数	2	2	2	回	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度の融資実績や現在の融資状況、本事業に対する課題について意見を聴取し、資金融資事業を適正に行うための附属機関として機能している。
事務事業の総コスト(a=b+c)	914,700	834,350	817,520	
事業費(b)(円)	86,400	79,200	79,200	
うち一般財源	86,400	79,200	79,200	
職員給与費(c)(円)	828,300	755,150	738,320	
人役・職員(人)	0.11	0.11	0.11	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	前年の当該委員会より指摘のあった本融資の周知方法について検討する。	③取組の課題	銀行等の民間事業者による融資の利率が下がってきているため、本市の融資制度を利用する事業者が減少している。
②今年度(H29)に実施した取組	HP及び広報以外に、商工会議所及び工業団地組合等融資に関係する団体の会議に出席し、本市の融資制度についての説明を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	平成30年度は、新たな委員の選出を行うため、審議会委員の選任及び会議の公開等に関する指針に基づき、女性委員の登用に努めたい。